



世界へのプレゼントになろう

R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」

◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 和田 良博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1056回	55名	53名	34名	—	64.15%
前々回 1054回	55名	53名	50名	0名	94.34%

『親子で体験 “組子作り”』

高山工業高校校長先生あいさつ

日にち：平成 27 年 8 月 8 日 (土)

会場：高山工業高校教室

午前の部：9：00～11：40 親子 20 組

午後の部：13：00～15：40 親子 20 組



高山中央 RC 坂之上幹事開会あいさつ

本日は「飛騨の匠の技・千鳥格子」の体験をしていただきます。このように多くの皆さんの参加をしていただき大変ありがたく思っております。



永家直前会長のあいさつ

私たち中央ロータリークラブは2年前より、飛騨の匠の伝統の技を児童に体験してもらおうと“親子で体験しよう「マイ箸作り」”昨年年は“親子で体験しよう「あんどん作り」”という企画を実行いたしました。今年はこの「飛騨の匠の技・千鳥格子」の体験の募集をしたところ、このようにたくさんの方に参加をしていただきました。又、この企画に賛同をいただいたNPO法人「あおぞら見聞塾」の方が、外国人のメンバーにも「飛騨の匠の技・千鳥格子」の体験をしていただこうと参加をされました。この後、この「千鳥格子」の材料などを作っていただいた「高山市祭屋台保存技術協同組合」の白木副会長さんからこの組み方などの説明をしていただきます。



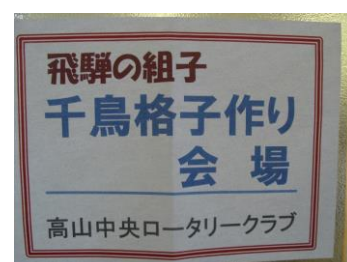
「高山市祭屋台保存技術協同組合」副会長

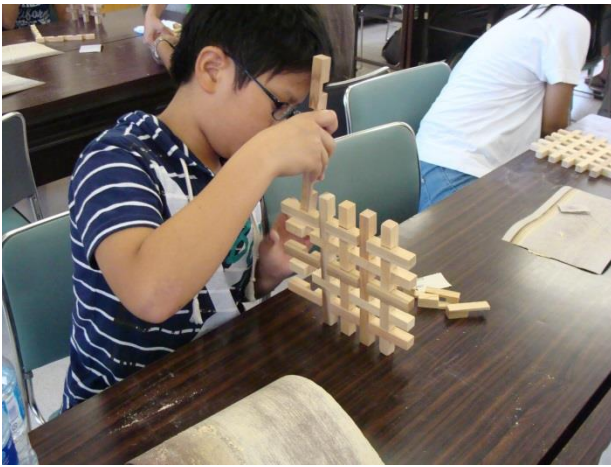
白木 良典 様

私は、昭和 36 年にこの学校を卒業しました、その在学中に今回ここに展示をしてある、「高山祭の屋台の模型を作製しました。ところが、この屋台が長い間、東京の方にありまして、ようやく高山に戻ってきたのですが、高山工業高校の創立 70 周年という



ことで、こちらの学校に展示していただくようになりました。この高山祭りの屋台というのは、「飛騨の匠」の技の集大成です、現在は高山市内に 25 台が有り、我々「高山市祭屋台保存技術協同組合」のメンバー 23 名で、この「祭屋台」のすべての修理を行っております。この「祭屋台」の入り口の格子が「千鳥格子」です。釘や接着剤などを使わずに木を組み合わせ、どこから見てもその組み方が解りません、本日は、その技を皆さんに体験していただきます。





<点 鐘> 直前会長 永家 将嗣

🍀 永家 直前会長 あいさつ 🍀

🍀 白木良典 様 あいさつ 🍀

